

# 西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) チュウキョウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ヨシノ
中京大学	経済学部	吉野ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) チーム A	フリガナ) アオヤマ ユカ	5 人	無
チーム A	青山由佳		

## 研究テーマ（発表タイトル）

リニアよ、終着駅はどこにある？

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

最高時速 500 km で走行する次世代の交通機関、リニア中央新幹線（以降リニアと呼称）が 2027 年に東京（品川）－名古屋間で開業予定である。世界初となる事業に対して国内だけでなく、世界的にも注目を集めている。一方で、環境面や予算面での問題、さらには完成後の採算性と様々な問題を抱えている。これらの問題に対する理解を深め、どのようなアプローチがふさわしいか、解決策を模索していく。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

東海道新幹線の設備の老朽化が進み集中的な取り替えが必要となる。東海道新幹線に代わる大量輸送手段が必要となる。そのためリニアであり、現在、南アルプスを貫くトンネルの工事や品川駅のホーム建設に着手している。しかし多くの課題を抱えている。

### 3. 研究テーマの課題

将来リニアの完成により東京への一極集中が進むおそれがある。ほかにも、大量の電力消費や採算性などの問題もある。また現在抱えている問題として土地買収の難航やトンネル工事による水源の枯渇、さらに当初の予想をはるかに上回る莫大な工事費用があげられ、好調に進んでいるとは言えない状況だ。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

一極集中を防ぐため各沿線地域が第三次産業を発展させる。国や企業が情報公開に積極的になる。アンケート結果にもとに一番課題だと思っている点について、解決策の選択肢を提案していく。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

アンケート調査と参考文献の閲覧。新聞、ネットの記事等の参照。

## 6. 結果や今後の取り組み

リニアの課題や問題点についてまだ関心が低く、広く周知されていない。私たちが主体的に情報を収集、発信していき、リニアについての理解を深め、議論を活発にしより良い決断を下せるようにしていきたい。

## 7. 参考文献

橋山禮次郎（2014）「リニア新幹線巨大プロジェクトの「真実」」 集英社新書

樫田秀樹（2014）「“悪夢の超特急”リニア中央新幹線」 旬報社

久野万太郎（1992）「リニア新幹線物語」 同友館

中央新幹線沿線学会（2001）「リニア中央新幹線で日本は変わる」 PHP エディターズ

リニアの歴史 | 山梨県立リニア見学センター

<http://www.linear-museum.pref.yamanashi.jp/about/history.html> 2016/10/13

愛知県 | リニア中央新幹線影響等調査結果の概要

<http://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/36257.pdf> 2016/10/4

名古屋市 | リニア中央新幹線と名駅周辺まちづくり構想

<http://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/cmsfiles/contents/0000059/59705/matidukurikousouan.pdf>

2016/10/4

NHK 持論公論 「リニア中央新幹線着工 期待と課題」

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/100/206353.html> 2016/10/4

中央新幹線 | JR 東海

<http://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/> 2016/10/6

超電導リニアによる中央新幹線 | 戦略・事業紹介 | JR 東海

<https://saiyo.jr-central.co.jp/business/maglev.html> 2016/10/6

## 西日本インカレ事務局への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。